しわネット

2004 5月

ポータルサイト　http://www.town.shiwa.iwate.jp/　No.647　発行＊岩手県 紫波町

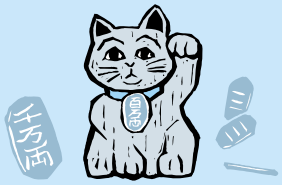
特集 アンケート速報
「住民満足度」調査結果を報告

7ページ
藤原町長に手紙で
ご意見・ご提案を

8ページ　平成16年度
まちの予算

10ページ　高齢者の
死亡事故を考える

13ページ　上手に! 元気に！
介護保険



5/22
10:00

JR紫波中央駅の待合所が
町の観光案内と特産品販売の情報発信基地に

オープン 紫あ波せ本舗

紫波町
安心の食プラザ

し●あ●わ●せ●ほ●ん●ぽ

オープンに合わせイベントも開催。日替わりでお得な商品も多数ご用意します。

●5月22日（土）　朝10時●
オープニングセレモニー
紫波ひめ隊つきたてもち振る舞い

●館内のご案内
取扱商品　地元の野菜、果物、加工品、工芸品
特産品交流コーナー
　県内各地の市町村自慢の商品を展示販売
数量限定！駅弁コーナー　紫あ波せ弁当、
　九戸政実弁当など

問合せ
（有）紫波フルーツパーク
☎676-5301

6/12

六代目　平次親分が来町

村上弘明トークショー

問合せ
野村胡堂・あらえびす記念館
☎676-6896

●6月12日（土）、午後3時30分～●
　野村胡堂・あらえびす記念館特設ステージで開催。陸前高田市出身の村上さんからどんな話が飛び出すかお楽しみ！
　また午後2時前後には「銭形平次アピールイベント」をなんバザホールと習町車置処で開催。村上弘明さんが日詰商店街にやって来ます。

※トークショーは入場無料ですが、700人を超える場合入場制限することがあります。雨天時は彦部小学校体育館。

〈町長メッセージ〉

子どもたちが楽しく過ごせる虹の保育園の仕掛け

　将来を担う子どもたちの可能性を求めて、夢のある園舎が完成しました。乳幼児は一日の大半を保育園で過ごします。園児にとっては生活の場でもあります。

　日本文化の源は木であり神社仏閣も古来から木で造られてきました。園舎は心を育む遊具と空間作りに配慮し、外壁に埋め込まれた鬼瓦、北側中央には大きな丸窓、廊下には紫波の山並みと四季を表現した壁やベンチがあります。壁の随所に焼き物のフクロウ、カエルが埋め込まれています。南側水飲み場天井には、夜空に美しく見られる北斗七星を豆電球で表しています。

　遊戯室には、地元の新里新五郎氏が滝名川河川で育てた樹齢二百年ほどの南部アカマツの大梁七本が、すばらしい造形美を醸し出しています。

　玄関ホールの腰壁、手洗い場の壁、トイレの壁は、モザイクタイルの張り方と色使いがリズム感を出せるよう工夫されています。

　虹の保育園は、園児たちにとって楽しく過ごせる多くの仕掛けを取り入れており、創造力豊かな子どもの成長を願うものであります。

　建築に当たっては、上平沢小学校と同じく町内産木材の活用と技術の伝承を目指しました。この考え方を可能な限り生かしてくださった設計担当者並びに工事関係者の労におれを申し上げますと共に、地区民に末永く愛される保育園となるようご支援をお願いします。

（藤原　孝）

特集

お知らせします 住民満足度調査結果

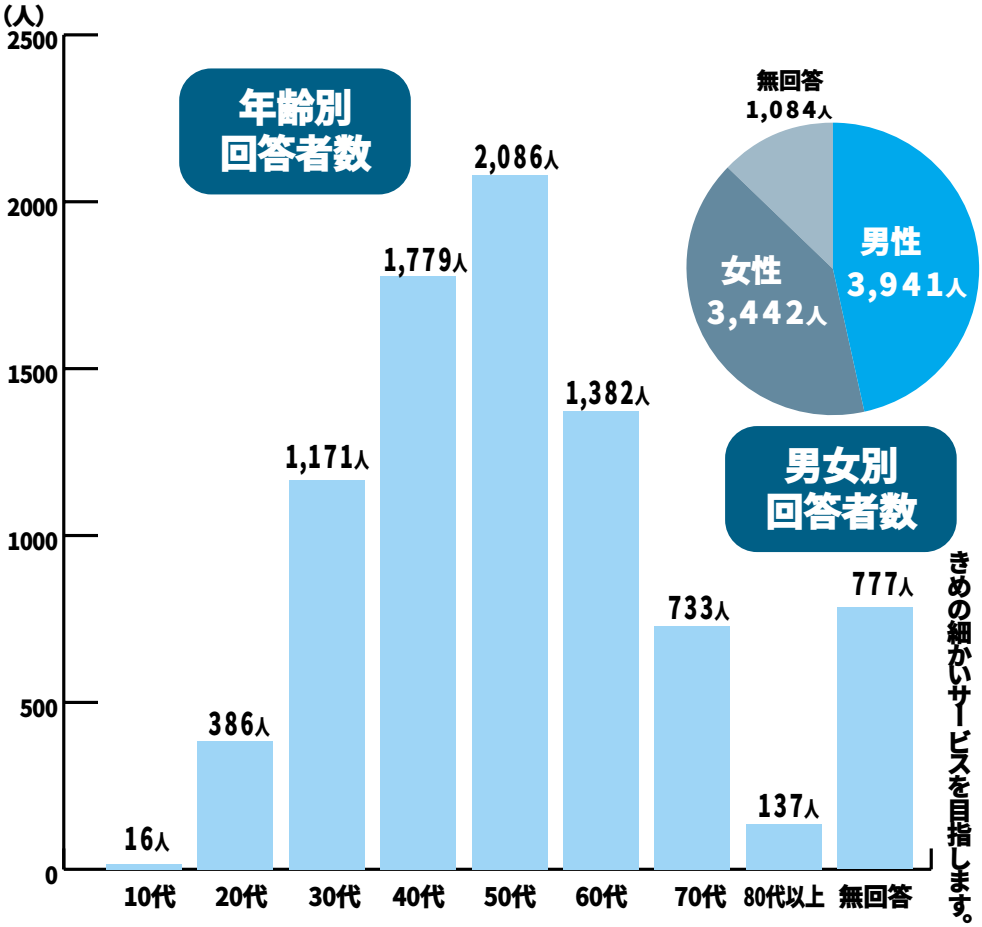
町の取り組みがどの程度進んでいるかを図る指標の一つとして、昨年十二月に「住民満足度調査」を実施しました。

今回は速報として、調査結果の全体像をお伝えします。今後、さらに詳しい分析を行い、ホームページなどでお知らせします。

アンケート実施内容と回答状況について

総合計画基本計画の体系に基づいた五十八項目について満足度と重要度を一〇点満点で評価していただく方法で全世帯を対象に行い、八千四百六十七件（回収率八二・八パーセント）の回答がありました。

今回は、集計結果の主な部分をお知らせしますが、地区別や年代別による詳細な分析を行うことできめの細かいサービスを目指します。



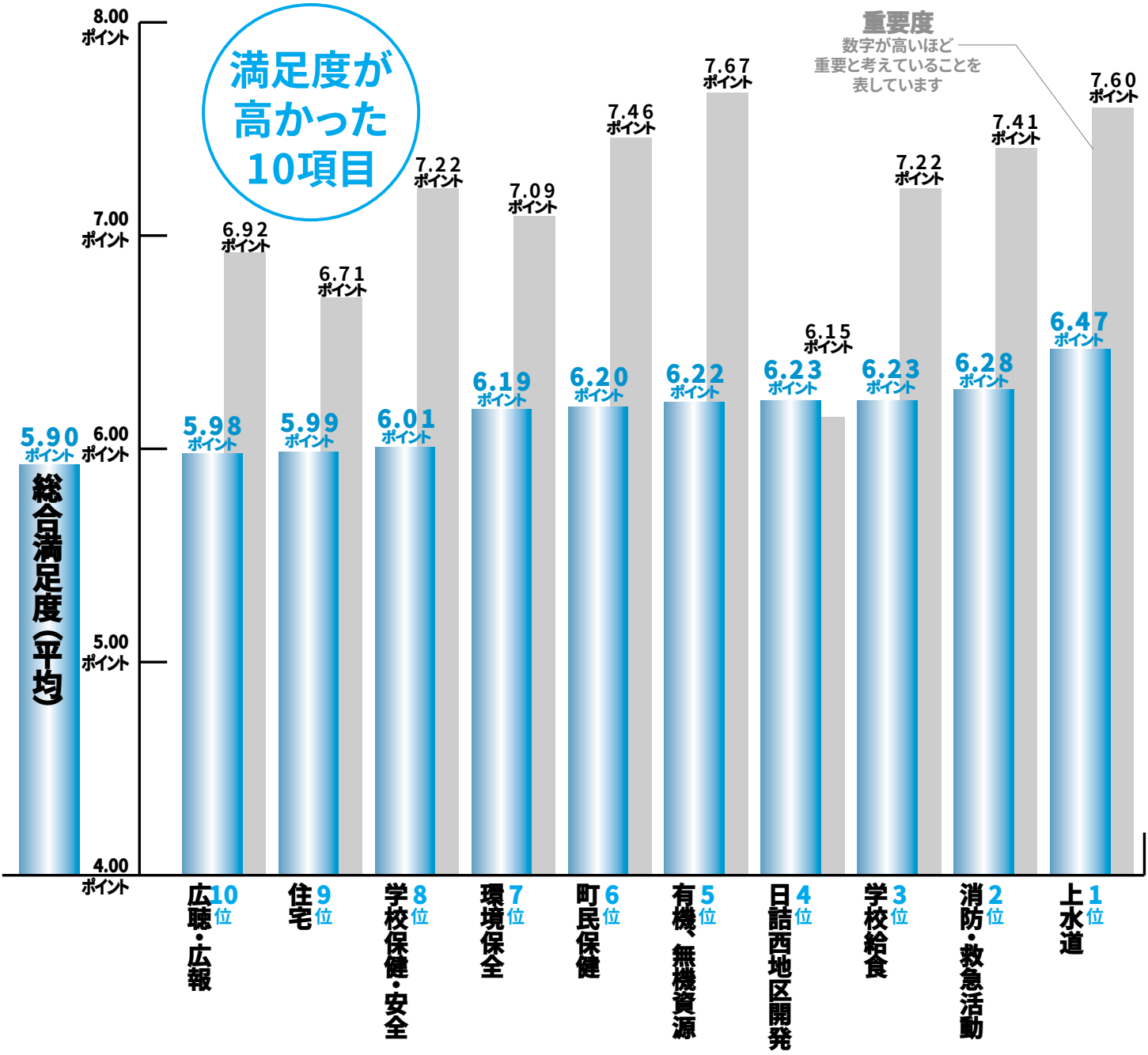
グラフで見る項目別「満足度」「重要度」

町では、平成十三年三月に、「ひと・こころ・いのちの和で育む豊かな未来」として、共生のまち、協働のまち、地元学のまち、交流のまちをキーワードにした紫波町総合計画を策定しました。以来、町民、企業、行政が三位一体となって、ともに連携しあいながら年次計画に従い、事業を展開しているところです。こうした取り組みがどの程度進んでいるかを図る指標の一つとして、昨年十二月に「住民満足度調査」を実施しました。

調査表の回収は統計調査員のご尽力により高い回収率となりました。ご協力いただいた町民の皆さん、ありがとうございました。調査結果は、社会の変化や皆さんの意向を確認しながら、まちづくりに役立ててまいります。

■項目別満足度の平均は6・4点 総合満足度は5・9点

五点以下が不満足、六点以上が満足の範囲です。皆さんからいただいた結果は合格圏内ですが、これを基準点として今後さらにレベルアップしていくことが必要だと考えています。



■満足度ベスト10

「環境」「健康」「住」がキーワードになっています。町が重要施策として推進している「循環型まちづくり」や「元気はつらつ紫波計画」に対する評価が含まれているものと考えられます。

❶『上水道』　水の安定供給、水質管理、給水区域の拡大

❷『消防・救急活動』　防火思想の啓発・普及、自主防災組織の育成、救急体制の整備

❸『学校給食』　献立の工夫による地場産品の利用拡大、食に関する教育

❹『日詰西地区開発』　紫波中央駅前整備

❺『有機・無機資源』　ゴミ集積所整備・処理対策、ゴミ減量化・リサイクル、産業廃棄物・し尿処理

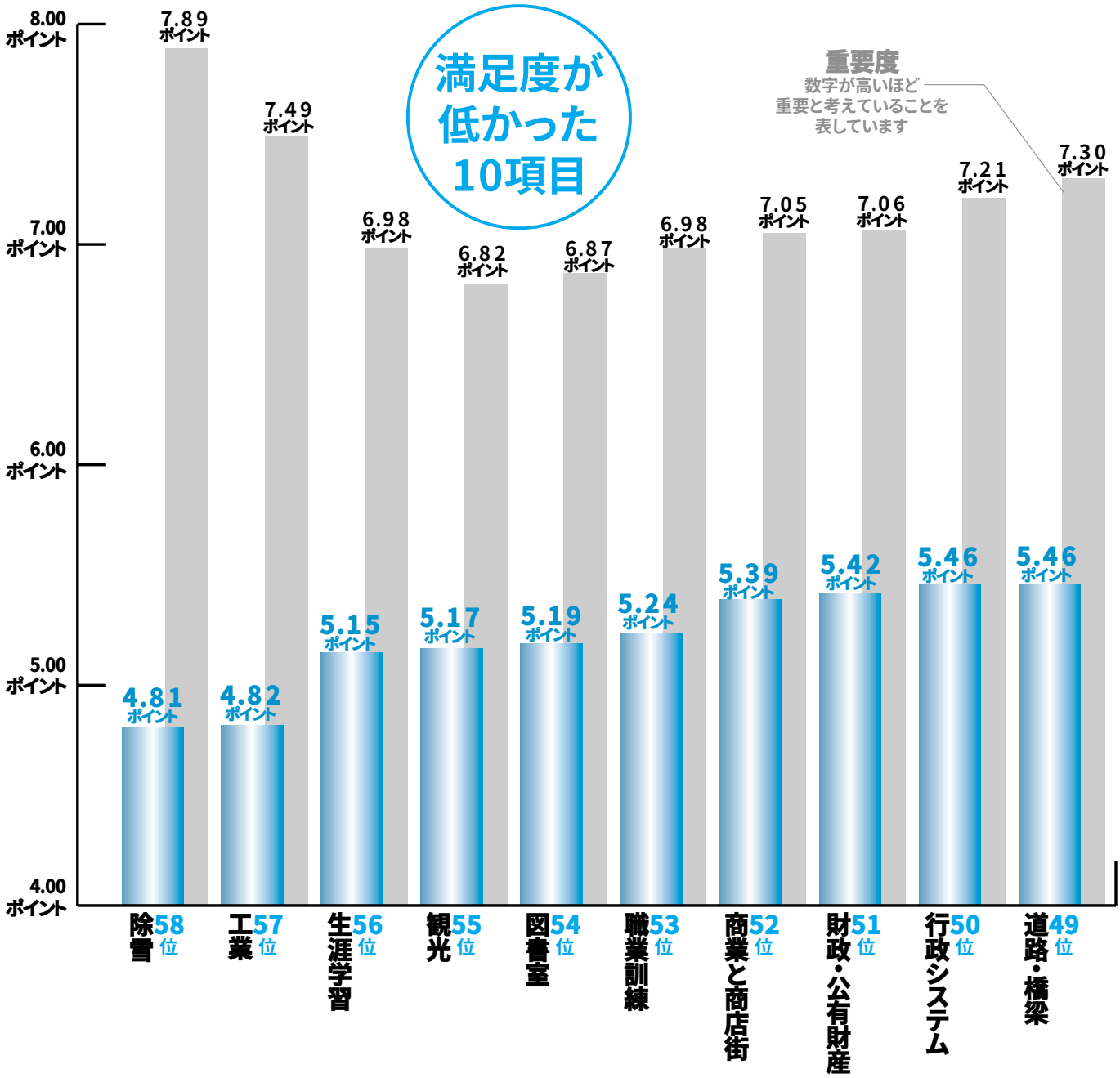
❻『町民保健』　健康診断や生活習慣病予防活動、母子・成人・老人保健の推進

❼『環境保全』　きれいな町づくり・緑化・自然保護の推進

❽『学校保健・安全』　学校保健活動の充実、健康・安全教育

❾『住宅』　居住環境の整備、住情報の提供

❿『広聴・広報』　広報誌、ホームページ、町政懇談会、まちづくりへの町民参加、町に意志を伝える機会



■満足度ワースト10

除雪や雇用確保など日常生活に密着した課題や図書館など生涯学習施設の整備に対する期待が浮き彫りにされました。

❶『除雪』　自宅周辺や通勤・通学路の除雪の状況
❷『工業』　既存企業の振興、企業誘致、労働力確保
❸『生涯学習』　学習機会・情報の提供、生涯学習施設・図書館の整備
❹『観光』　観光資源の魅力向上、情報発信体制
❺『図書室』　図書の充実と利用の促進
❻『職業訓練』　訓練・養成の「場」の設置、高度技術の習得支援、伝統的技術の継承
❼『商業と商店街』　商業基盤の整備、空き店舗活用、日常の買い物の利便性
❽『財政・公有財産』　適正な公共施設や公共サービスの利用料・手数料、負担金
❾『行政システム』　役場などの利用のしやすさ・わかりやすさ、情報公開と住民参加のまちづくり、事業の民間委託
❿『道路・橋梁』　道路網や橋の整備・管理、街路事業

■重要度ベスト10

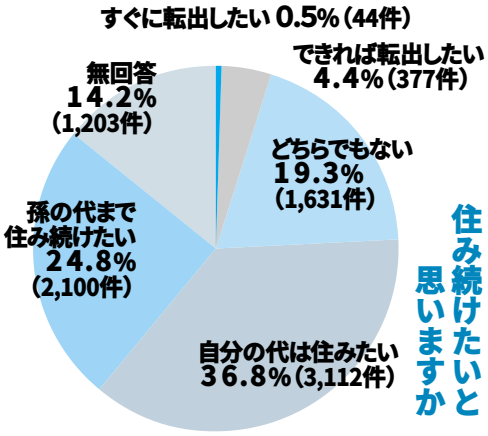
「安全」「安心」「快適」がキーワードになっています。住み続けたいと思えるまちづくりには欠かすことのできない課題です。

❶『除雪』　自宅周辺や通勤・通学路の除雪の状況
❷『町民医療』　医療機関・診療体制、救急医療体制、地域リハビリ体制の充実
❸『防犯』　防犯活動組織の体制強化
❹『下水道』　公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備
❺『有機・無機資源』　ゴミ集積所整備・処理対策、ゴミ減量化・リサイクル、産業廃棄物・し尿処理
❻『介護保険』　在宅介護支援、介護保険制度の適正運用
❼『高齢者福祉』　高齢者福祉施設、高齢者の自立と生きがい対策、介護予防対策
❽『公害』　騒音、振動、悪臭等の対策、不法投棄監視体制
❾『上水道』　水の安定供給、推進管理、給水区域の拡大
❿『義務教育』　基礎学力の向上、特色ある学校経営、道徳教育の充実、家庭・地域との連携

■紫波町に住み続けたいと思いますか

六割の人が住み続けたいと考えています。転出したいという回答は日詰、古館、赤石地区に集中しています。

問　紫波町に住み続けたいと思いますか



■自由記入欄

自由記入欄への記入は千百四十五件あり、除雪、図書館、街灯、職員の対応、職場の確保、保育所などに対する意見が目立ちました。項目数が多い、記入の仕方が難しいなどアンケートの方法に対する意見もありましたが、たくさんの皆様から回答をいただきました。改めてお礼申し上げます。

〈町民満足度〉グラフで表示した以外の11位～48位

↑高い「満足度」

1～10位は4ページ参照	
11位	景観の保全と創造
12位	社会体育
13位	バス交通
14位	下水道
15位	文化財
16位	公民館
17位	防災
18位	国際交流
19位	児童福祉
20位	交通安全
21位	体育施設
22位	コミュニティ
23位	学校教育施設
24位	鉄道交通
25位	地域福祉
26位	青少年・成人教育
27位	高齢者福祉
28位	出稼ぎ対策
29位	芸術・文化
30位	就学前教育
31位	男女共同参画社会
32位	火葬場・埋葬地
33位	森林・林業
34位	農業
35位	広域行政
36位	心身障害者(児)福祉
37位	交流のまちづくり
38位	河川
39位	公害
40位	公園・緑地
41位	高度情報化
42位	勤労者福祉
43位	介護保険
44位	義務教育
45位	消費者保護
46位	町民医療
47位	防犯
48位	人事管理
49～58位は5ページ参照	

↓低い「満足度」

〈重要度〉上位10項目と下位10項目

上位10項目

1位	除雪
2位	町民医療
3位	防犯
4位	有機、無機資源
5位	介護保険
6位	下水道
7位	高齢者福祉
8位	公害
9位	上水道
10位	義務教育

下位10項目

49位	出稼ぎ対策
50位	交流のまちづくり
51位	社会体育
52位	勤労者福祉
53位	文化財
54位	公民館
55位	男女共同参画社会
56位	芸術・文化
57位	国際交流
58位	日詰西地区開発

藤原町長に手紙で皆さんのご意見・ご提案を

町民の皆様へ

町が将来へ向けて住み良いまち、自立したまちとして発展するよう町民の皆様とともに「協働のまちづくり」を進めることを十六年度の所信表明として確認いたしました。一人ひとりと対話する機会を持てることが理想ではありますが、今何を思い、どんな意見をお持ちなのかを「手紙」という形で、より多くの方に寄せていただくことも協働への一歩と考えております。忌たんなく筆を執っていただきたいと思います。

藤原　孝

切手不要です。お気軽にお出しください。

「町長への手紙」は、町政に対するご意見やご提案を気軽に出していただくものです。環境、教育、福祉、農業など分野は問いません。みなさんの率直な声をお聞かせください。

いただいたお手紙は、藤原町長が目を通したうえで、担当する部署が対応し、お返事するとともに、住み良いまちづくりのために役立てていきます。

〈ご利用方法〉

しわネットに折り込んである用紙をお使いください。（年４回折り込む予定です）

●線の通り折ると封筒になり、切手をはらずにそのまま投函できます。

●そのままファクシミリで送ってもけっこうです。

私製の封筒、官製ハガキ、Ｅメールでも受け付けますので「町長への手紙」と明記し、住所・氏名・電話番号を記入のうえ送付してください。匿名での投書はご遠慮ください。

Ｅメールアドレス　mayor@town.shiwa.iwate.jp

問合せ　情報政策室 ☎672-2111 内線 3231

ご覧ください！

「町長対談」がいつでもビデオ映像で

有線放送で毎月第１火曜の夕方に放送されている「町長対談」が、地区公民館などに設置してあるキオスク端末やタッチパネルパソコンで見られるようになりました。有線放送アナウンサーの佐藤博子さんとの対談形式で、藤原町長が町の施策や方針、イベントへのご案内をします。

平成十六年度 まちの予算

平成十六年度がスタートして一ヵ月が経過しました。

今年度は、政府が、地方の命綱ともいえる地方交付税と財源不足を補う臨時財政対策債を合わせて、前年度比一二パーセント減に当たる二兆九〇〇〇億円を削減。さらに、国の補助金も一兆円削減されましたが、税源移譲は六五〇〇億円にとどまりました。

国と地方財政の三位一体改革とはいうものの、国の負担転嫁が目立ち、地方財政の危機的状況は一層深まっています。

本町も例外ではなく、一般会計当初予算は前年度比五パーセント減の緊縮型となりましたが、ペレット製造施設や高齢者に配慮した町営住宅建設を盛り込むなど、環境と福祉のまちづくり予算としています。

ここでは、その概要をお知らせします。

平成16年度 一般会計当初予算の概要

平成16年度一般会計当初予算は、総額110億6292万3000円で、平成15年度当初と比較して5億8589万3000円（5.0%）の減となりました。

歳入・歳出の特徴

1 歳入

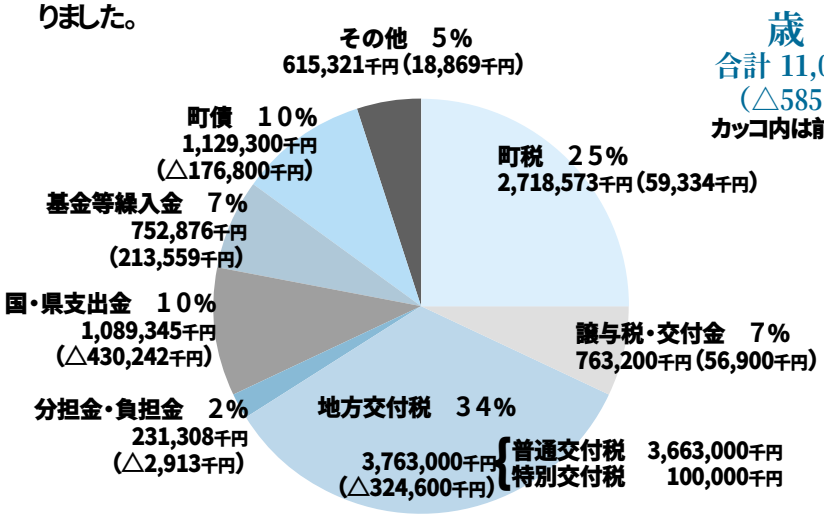
町税・地方交付税は、合計六四億八一五七万三〇〇〇円で歳入全体の五八・六パーセントを占めており、昨年度合計六七億四六八三万九〇〇〇円と比較すると、二億六五二六万六〇〇〇円（三・九パーセント）の減となっています。町税は、固定資産税の伸びにより二・二パーセント増、地方交付税は、七・九パーセントの減と見込んでいます。

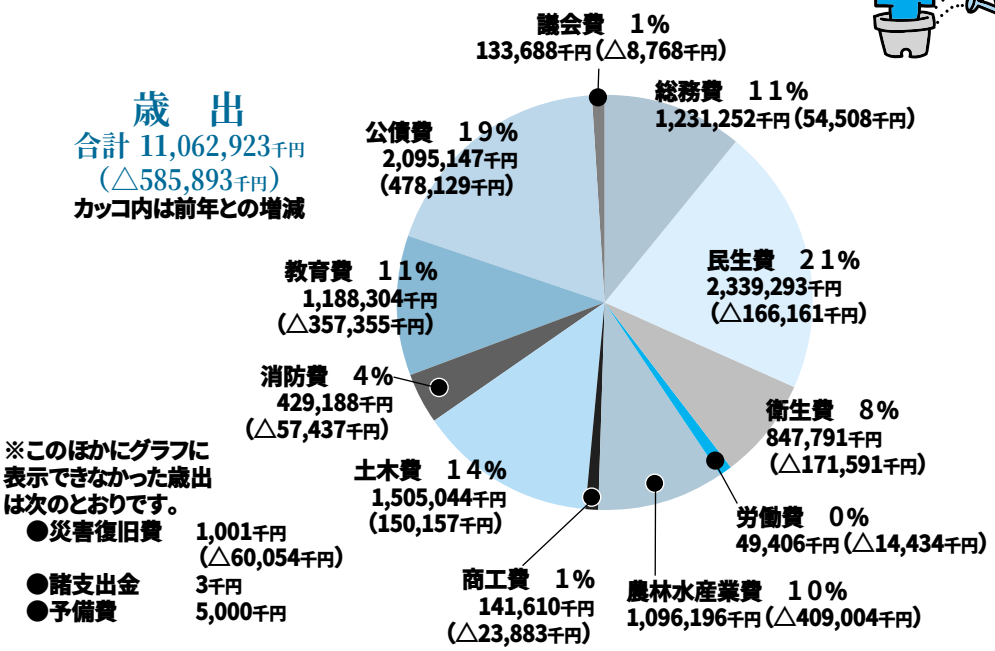
また、地方譲与税は国の税源移譲による所得譲与税の新設があったもの、地方道路譲与税等の減が予想されることから一千五五〇万円（四・三パーセント）の減としています。

国・県支出金は三位一体改革による保育所運営費負担金の一般財源化などに加

歳入では、三位一体改革により、国庫支出金や地方交付税が削減され、県支出金、町債なども減となっています。

歳出では、衛生費、農林水産業費、教育費などが大幅減となっています。虹の保育園、ゴミ焼却施設、えこ3センター、紫波第三中学校屋内運動場の建設完了などによるもので、2年連続の減少となっています。





※このほかにグラフに表示できなかった歳出は次のとおりです。

- ●災害復旧費　1,001千円（△60,054千円）
- ●諸支出金　3千円
- ●予備費　5,000千円

え、補助対象建設事業の縮小もあることから、いずれも大幅な減となっています。

町債では、災害復旧や建設事業の縮小などにより大幅に減少するものの、減税補てん債三億七九三〇万円の借り換えの年であることから、全体で一億七六八〇万円（一三・五パーセント）の減となりました。

地方交付税削減の財源対策措置として継続となった臨時財政対策債（赤字地方債）は、二億六六〇〇万円（三六・二パーセント）の減となっています。

2 歳出

今年度は、緊縮予算となったため、前年度対比で増加となるのは、公債費（対前年比二九・六パーセント増、以下同じ）、土木費（一一・一パーセント）、総務費（四・六パーセント）の三科目のみとなっています。

公債費は、町民税減税補てん債の借換償還元金三億七九三〇万円が主な増額要因となっています。

土木費は、橋梁新設改良費の高田関口線、土地区画整理費の日詰駅前地区、住宅建設費の朝日ヶ丘北住宅新築などが増加要因。

総務費は、主に一般管理費の紫波地域農業管理センター特別負担金、企画費のペレット製造プラント設備工事等により増加となるものです。

減額の大きなものは農林水産業費、教育費、衛生費、民生費などとなっており、いずれも建設費または建設関連経費が大きく影響しています。

農林水産業費では、えこ3プランセンターや炭化施設の建設完了。教育費では中学校の屋内体育施設の建設完了。衛生費ではごみ処理施設建設負担金の減と中部広域水道の負担割合の見直し。民生費では保育所建設の完了などが減額の要因となっています。

3 自主財源の比較

歳入を自主財源と依存財源に分類すると、自主財源は、前年度比較で三億八八八四万九〇〇〇円（九・七パーセント）の増額で、四四億一八〇七万八〇〇〇円。依存財源は、九億七四七四万二〇〇〇円（一二・八パーセント）の減で、六六億四四八四万五〇〇〇円となっています。

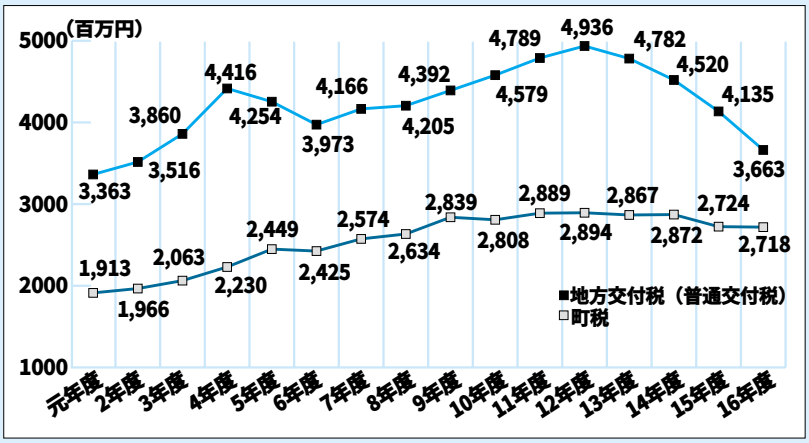
自主財源の増加は、まちの貯金である基金からの繰り入れのほか、町税も微増となっていることによります。依存財源は、地方交付税をはじめ、国・県支出金、町債、地方譲与税などほとんどの科目で減少となっています。

コラム 激動する地方交付税

一般財源は、まち独自の裁量で使い道を決めることのできる財源です。本町では、町税と地方交付税（普通交付税）が一般財源の九割以上を占めています。平成元年度から、これまでの推移をみると、町税は、平成九年度まで上昇して、その後は横ばいとなっています。

一方、地方交付税は、町税に比べて額が大きいばかりでなく、変動も大きくなっています。平成四年度まで、交付額は急激に上昇しましたが、その後二年間は減少に転じ、平成六年度から平成十二年度のピークまで再び上昇を続けて、その後、数年で急激に落ち込んでいます。これは、国が経済対策の名目で公共事業を押し進め、地方交付税も増額してきたものの、その効果が出るどころか国税収入がピークだった平成二年度の三分の二まで減っていることが要因となっています。

地方交付税が、ここ数年で、平成二年度か三年度ごろの水準にまで圧縮されたことで、どこの地方自治体も財源不足に悩んでいます。



町税と地方交付税の推移（平成15年度は決算見込み、平成16年度は予算）

〔一般会計　歳入自主財源の前年度比較〕

種別	平成16年度 予算額	平成16年度 構成比率	平成15年度 予算額	平成15年度 構成比率	増減額	増減率
自主財源	4,418,078	39.9	4,029,229	34.6	388,849	9.7
依存財源	6,644,845	60.1	7,619,587	65.4	△974,742	△12.8
合計	11,062,923	100.0	11,648,816	100.0	△585,893	△5.0

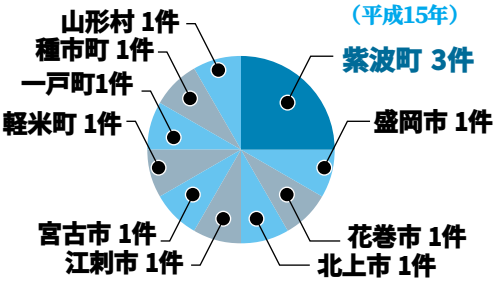
平成16年度特別会計の状況

会計名		16年度	15年度	増減額	増減率
日詰西地区土地取得事業		20,635	909,682	△889,047	△97.7
国民健康保険事業		2,620,810	2,482,911	137,899	5.6
老人保健		3,302,771	3,346,728	△43,957	△1.3
介護保険事業		1,563,879	1,452,246	111,633	7.7
介護サービス事業		2,215	7,946	△5,731	△72.1
公共下水道事業		1,242,501	1,300,267	△57,766	△4.4
農業集落排水事業		1,213,836	606,449	607,387	100.2
水道事業	収益的収支	660,500	655,184	5,316	0.8
	資本的収入	(243,398)	(237,417)	(5,981)	(2.5)
	資本的支出	548,876	439,687	109,189	24.8
特別会計　合計		11,176,023	11,201,100	△25,077	△0.2
一般会計		11,062,923	11,648,816	△585,893	△5.0
一般・特別会計　総計		22,238,946	22,849,916	△610,970	△2.7

異常事態　多発する高齢者の死亡事故を考える!

昨年１年間（１月１日～12月31日）に発生した町内の死亡事故は４件でした。今年はすでに３件発生しており、昨年からの事故７件の内容を見ると５件は65歳以上の高齢者が犠牲となっています。その５件すべてが軽トラックを運転していて起こった事故でした。これから本格的な農繁期を迎え、軽トラックの活躍する時期です。今一度、家族で交通安全について話し合い、悲惨な交通事故を起こさないように、また遭遇しないように気を付けましょう。

県内の軽トラックによる死亡事故件数
（平成15年）



死亡事故（昨年との比較）

平成15年 1年間で 4件（高齢者3件）	→	平成16年 4ヵ月間で 3件（高齢者2件）

県内全体では軽トラック運転者の死亡事故は昨年一年間（一月一日～十二月三十一日）で十二件あり、実にその四分の一が紫波町で発生していることになります。

事故の内容を比較すると、昨年の高齢者による死亡事故は三件とも交差点で起こっています。残る一件は雪道での事故です。今年に入ってからの事故は、すべて対向車との正面衝突となっています。また、走り慣れた道や、車が少ない道で多く発生していることも特徴の一つです。

こうしてみると、高齢者の運転する軽トラックが家の近くの慣れた道で、交差点あるいは対向車線にはみ出し、出合い頭に衝突する事例が多く、さらに死亡率も非常に高いことがわかります。たとえ自分が悪くない場合でも、交通事故で死傷するのは軽トラックを運転する高齢者ドライバーが多いということです。身体機能や集中力が本人の気づかないうちに低下していることも考えられ、体調が少しでも悪いときには運転しないなど未然の配慮が必要です。

環境ニュース

地域のごみを一掃 第１回クリーン作戦を実施

今年度第１回目の一斉クリーン作戦が４月18日に行われ、地域ごとに清掃活動が行われました。清掃場所や内容は地域にまかされており、排水路の洗浄をしている地域もありました。日曜日の朝でしたが、多くの中学生や小学生も早起きをして手伝っていました。

プラ容器はきれいなものだけをリサイクル！

日詰地区で新たに始まった、容器包装類のリサイクル化の勉強会が行われました。これまでのところ、資源として出された物の８割ほどはリサイクル活用でき、分別を始めた他の町村の例に比べ大変優秀であるとのことでした。

なお、汚れた容器や汚れの取れない物は燃やせるごみとしての回収をお願いします。汚れが付いたままでは資源として利用できないだけでなく、袋が破けた時ほかの資源までも汚し、すべて再利用できなくなる恐れがあります。

運転に不安を感じていませんか？ 高齢ドライバーの運転適正相談

高齢運転者（六十五歳以上）の交通事故が年々増加していることから、県自動車運転免許センターでは、運転適正に関する相談を受け付けています。運転能力、適正などを検査器で診断し、その結果に基づきアドバイスを行います。自分の腕を過信することなく、いつまでも優良ドライバーでいるためにどうぞご利用ください。

対　象　県内在住で六十五歳以上の運転者
診断料　無料
場　所　玉山村大字下田字仲平一八三
申　込　岩手県自動車運転免許センター試験係・講習係
☎683-1251
※必ず電話で予約してください。
予約受付時間　平日午前９時～午後５時

軽トラックの運転 こんなところにご注意

2004
まちのわだい

桜前線は例年より早く北上し、城山御殿跡のサクラも二十一日には満開となりました。桜まつり期間中は多くの人が訪れ、夜は提灯の明かりが花を幻想的に浮かび上がらせ眼下の盛岡方面の夜景とともに人々を立ち止まらせていました。

しかし今年は、花芽がウソ（アトリ科の小鳥）に食べられてしまい、山全体がうす桃色に覆われる姿は最後まで見ることはできませんでした。

イベント開催日に当てられた二十四日は不安定な空模様で、一時、雨やあられも降ってきましたが、歌謡祭、キッズダンス、民謡王座決定戦が特設ステージで華やかに繰り広げられ、立ち並んだ屋台では地場産品が販売されました。もちつきの紫波ひめ隊も出動し、つきたてのもちが大勢の皆さんに振る舞われました。

今回のイベントのもう一つの目玉が、安心の食をテーマに、モニターによる試食を重ねて作られたお花見弁当です。用意した百食は、新聞記事に取り上げられ話題になっていたことも手伝い、販売開始から三十分ほどで完売しました。

翌二十五日夜には観測史上二番目に遅い積雪となり、町全体が冬景色に変わりました。春の湿った雪で、散り始めのサクラの木数本が幹から折れるなど、大きな被害が発生しました。

花見弁当も大人気の桜まつり　4/18～5/5

上手に！　元気に！
介護保険
～体験談紹介～

担当　介護保険室 ☎672-4522

先月号から介護保険室がご紹介しているのが「介護保険」を利用しながら元気を取り戻している人たちです。

今回は、介護保険を利用し要介護4から要介護1に改善した佐藤権次郎さん（九十二歳）です。

奥さんと二人暮らしの佐藤さんは、四年前に呼吸器系の疾患で入院治療後一時寝たきりとなりました。退院と同時に介護保険を申請し、サービスを利用しながら生活しているうちに徐々に回復し、今では畑を歩くまで元気になっています。

大好きなひょうたんづくりを再開するために

奥さんのウメノさんは「入院した時は難儀したども、こんなに元気になるとは思わなかったです。『権次郎じいさんのくらい元気になった人はない』と皆さんに言われてます。毎日なんたって外さ出て畑歩ってるし、ディサービスも楽しみにしてるもの。皆さんの世話になってました」と笑って話してくれました。

四月なかばの春うららかな日、なべに入れたヒョウタンの種をハウスの片隅でまいている佐藤さんの姿がありました。芽が出たらハウスの鉄柱に這わせて今年もひょうたん作りに挑戦します。病床に伏しているときも時折畑のことを思い出し、育てていた花や野菜のことを気にしていました。

佐藤さんの家の軒下には、「ひょうたん」が飾られています。これまでにいくつ作ったことでしょう。ご近所にも評判であげたものもあります。退院後から作り続けている「ひょうたん」には、金銀の色が塗られひときわ目を引きます。

ケア・マネジャーから

紫波町居宅介護支援事業所
介護支援専門員　野村直子

佐藤さんは、平成十二年五月の退院と同時に介護保険を利用しています。

週二回のディサービス・週一回の訪問看護（看護とリハビリ）・月一回の居宅療養管理指導を受けています。このように週三～四回は介護サービスのため、さまざまな職種の人が佐藤さん宅を訪れています。

奥さんと穏やかに暮らしている佐藤さんからは「元気の源は、何か楽しみを持ち、自分らしく暮らすこと」なのではないかと教えられました。

【介護保険ワンポイント】

ディサービスとは…

ディサービスセンターにおいて食事・入浴サービスなどを提供し、心身機能の維持向上を図るサービスです。町内には5ヵ所のディサービスセンターがあります。

保健推進員の皆さんを紹介

各地区の保健推進員をお知らせします。保健推進員は、各種検診や健康相談の連絡、健康についての相談相手になり、保健活動を効果的に推進するため皆さんと町の連絡調整を行います。なお、保健推進員として知り得た個人の秘密は厳守しますので、安心して相談してください。

◆保健推進員に関する問合せ　保健センター☎672－4522

日詰地区　28人

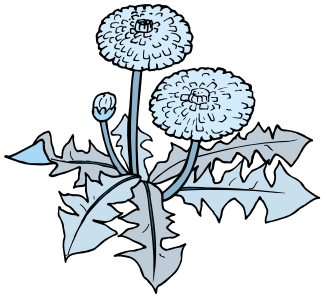
地区	氏名
総括委員長	瀬川　智子
1区	佐藤　ツヨ
2区	渡辺　久子
3区	稲田　初代
4区	阿部　ふみ
5区	平井　理子
6区	村谷　仲
7区	畠山　幸子
8区	小原キヨ子
8区	高橋由美子
9区	高橋　絹子
9区	朝日田フヨ
9区	斉藤　淑子
10区	佐藤　マサ
10区	小峰　清子
10区	上野まさ子
11区	鷹木　邦子
12区	成海　貴子
13区	下川　キヌ
14区	佐々木チワ子
14区	稲垣千代子
15区	高田奈保子
15区	菊池美保子
16区	川原　艶子
17区	阿部祐美子
18区	今　ゆかり
19区	佐々木洋子

古館地区　34人

地区	氏名
委員長	小野寺京子
1区	菊池ユウ子
2区	常石久美子
3区	戸塚　節子
4区	坂下　恵美
4区	前川喜久子
5区	田川　厚子
5区	佐々木宮子
5区	藤田利津子
6区	佐藤　淳子
6区	古舘美喜子
7区	吉田　佐知
8区	細川まさ子
8区	藤本　要子
9区	菊池喜美子
10区	臼井アヤ子
10区	中田　進
11区	渋谷　洋子
11区	畠山　睦子
12区	嶋津日出子
12区	菅原　明美
13区	高清水純子
13区	藤倉　育子
14区	沼田　栄子
14区	半田恵津子
15区	晴山　弘子
15区	三浦　スエ
16区	府金久美子
16区	菊池登和子
17区	佐藤　優子
18区	岩間　悦子
18区	小原　徳子
19区	遠藤　誠
19区	玉川やす江

赤石地区　27人

地区	氏名
委員長	箱崎　定子
1区	藤尾　純子
1区	宝木　幸子
2区	大沼チヨノ
3区	春本　雅子
4区	太田　セツ
5区	大沼　静枝
6区	佐々木常子
7区	佐藤　朋子
7区	長谷川代枝
8区	川守田万里子
8区	金濱　律子
9区	坂本　博子
10区	佐藤　法子
10区	松田　浩子
11区	高橋　静子
11区	細川　悌子
12区	工藤　ヤエ
13区	高橋ミサ子
14区	大沼　京子
15区	高橋　育子
16区	滝浦つき子
17区	菅原　ヒデ
18区	岩清水啓子
18区	沼田　英子
19区	長谷川四子
20区	吉田　美代



水分地区　14人

地区	氏名
委員長	坂本　律子
1区	武田アツ子
2区	鷹木　玲子
3区	鱒沢万紀子
4区	生内　すみ
5区	須川久美子
6区	笹原　淳子
7区	谷地　文子
8区	谷地イセ子
9区	藤原　綾子
10区	滝花　テル
11区	菊池　ヤエ
12区	菊池　妙
13区	菅原　美子

志和地区　23人

地区	氏名
委員長	吉田　百子
2区	小田中洋子
2区	鷹觜　ミツ
3区	咲山　和代
3区	小田島京子
4区	柳澤　君子
5区	浅沼キミ子
6区	細川　怜子
7区	近藤　文子
8区	高橋　玲子
9区	鷹觜　和江
10区	阿部　静子
11区	若狭　トミ
12区	沼川ツエ子
13区	藤尾　孝子
14区	佐藤ハル子
15区	熊谷　吉子
16区	高橋　普子
17区	鷹觜　スミ
18区	松川　房子
19区	高橋いね子
20区	中田　洋子
21区	鷹觜　良子

彦部地区　12人

地区	氏名
委員長	内村　洋子
1区	佐藤　昭子
2区	佐藤　和子
3区	八重畑富久子
4区	山谷　梅子
5区	野村　葉子
6区	吉田　良子
7区	工藤ミサヲ
8区	佐々木秀子
9区	阿部　智子
9区	佐々木喜代子
10区	阿部八重子

佐比内地区　10人

地区	氏名
委員長	中田　光子
1区	阿部　純子
2区	藤井とき子
3区	中田　敬子
4区	曲木ケソノ
5区	石杜　立子
6区	川村ウメ子
7区	佐々木芳子
8区	藤原セイ子
9区	福山　幾子

赤沢地区　10人

地区	氏名
委員長	梅沢　葉子
1区	藤原　光子
2区	日向　優子
3区	藤原　栄子
4区	工藤　恵子
5区	内村　恭子
6区	伊藤　俊子
7区	古沢　愛子
8区	半田百合子
9区	吉岡テフ子

長岡地区　12人

地区	氏名
委員長	沢田　和枝
1区	大久保ヤス
2区	北田　昭子
3区	横沢もと子
4区	沢田　昌子
5区	半田　富子
6区	森川　節子
7区	上和野キミ
8区	工藤　祐子
9区	細川　民子
10区	野原　光子
11区	阿部　洋子

事業所の皆さんへ調査協力のお願い

総務省と経済産業省では、６月１日に事業所・企業統計調査、商業統計調査およびサービス業基本調査を行います。標記調査を１枚の調査票で同時に行います。調査の対象は全国すべての民営の事業所です。この調査は、統計法に基づいて実施される国の重要な調査です。５月下旬から調査員が各事業所に伺いますので、ご協力をお願いします。

問合せ　総務課総務文書室 ☎672-2111　内線3123

犬の飼い方＆マナーアップ教室

町では、獣医師による犬の健康相談や散歩の上手な方法、さらに飼主の仲間づくりができる参加自由・無料の「犬の飼い方＆マナーアップ教室」を開催します。会場周辺の清掃も行いますので、昼食のほか、清掃用具（火ばし）も忘れずにご持参ください。

開催日　５月23日（日）、午前９時30分受付開始、午後２時30分終了予定

場所　高文紫波自動車学校（高水寺古屋敷54-１）

問合せ　環境課生活環境室（平次会館）☎672-2111　内線5531

ホームヘルパー養成の研修＆講座

ホームヘルパー２級養成講座

日本労働者協同組合連合会の養成講座です。講座を受講すると県指定の訪問介護員２級認証と（障害者ヘルパー）２級認定を同時に取得できます。

期間　７月４日（土）～10月23日（土）の指定された日

場所　盛岡市西部公民館

募集　40人〈６月25日（金）まで、先着順〉

受講料　７万5,000円（テキスト代込み、分割払い可）

問合せ　日本労働者協同組合連合会センター事業団盛岡事業所 ☎653-3465

ホームヘルパー１級課程

（財）介護労働安定センター岩手支部が実施する研修です。２級課程修了者が対象です。

期間　平成16年７月14日（水）～平成17年１月13日（木）の指定された日

場所　いわて国保会館、岩手県赤十字会館

募集　30人〈５月31日（月）まで〉

受講料　14万1,170円（受講料、テキスト代、保険料込み）

問合せ　（財）介護労働安定センター岩手支部 ☎652-9036

白地地域における建築物の制限について

平成12年度の建築基準法の改正により、都市計画区域内の用途地域が定められていない地域（以下白地地域）における建築形態（建築物の容積率、建ぺい率など）規制を特定行政庁である岩手県や盛岡市が指定することになりました。各市町村で適用する数値基準が、平成16年５月17日から以下に示すとおり新たな基準が適用されます。白地地域内で新築・増改築などで建築確認申請を行う場合には事前にご確認ください。

白地地域における建築規制の数値基準〈５月17日（月）施行〉

規制内容		規制値
建ぺい率		70%
容積率		（１）200%〈（２）の区域を除く〉
		（２）400%（花巻市湯本の一部、台の一部、台山国有林の一部で特に指定する区域）
道路斜線		こう配1.5
隣地斜線		高さ31mからこう配2.5
日影規制	対象区域	容積率200%の区域
	対象建築物	高さ10mを超える建築物
	測定面の高さ	４m
	生じさせてはならない日影時間	隣地境界から10m以内は５時間以上
		隣地境界から10mを超える範囲は３時間以上

問合せ　盛岡地方振興局土木部建築指導課 ☎629-6650／紫波町地域整備課 ☎672-2111　内線5122

サークル「おはなしの森」の活動案内

６年目を迎えるサークル「おはなしの森」の移動文庫・おはなし会が今年も各地区で行われます。次回は次の日程で、パネルシアター、本の貸し出し、作って遊ぼうなどを予定しています。どなたでもお気軽にいらしてください。

日時　５月29日（土）、午前10時～正午

場所　赤沢公民館

問合せ　おはなしの森代表　菅原和子さん ☎673-6291

平成16年度岩手県職員・警察官採用試験のお知らせ

平成17年４月１日採用予定の上記の試験について表の日程で実施します。詳しくは担当事務局までお問い合わせください。

問合せ　岩手県人事委員会事務局 ☎629-6241

試験名	第１次試験
上級試験	６月27日（日）
中級・初級試験	９月26日（日）
警察官Ａ試験	７月11日（日）
警察官Ｂ試験	９月26日（日）

しわネット5月号　平成16年5月10日発行　発行◆紫波町
〒028-3390 岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1
担当／政策経営課☎672-2111
印刷◆川嶋印刷株式会社

シリーズ『あの日』の思い出に会いに

アルバムにはられたあの日の紫波町
スローな昔の生活をのぞき、
心をいやしてください。

彦部小学校給食開始当時の様子

昭和50年代の給食センター

学校給食

昭和三十八年・四十八年
広報しわ掲載写真

町の学校給食は昭和七年ごろから欠食児童に対して行われたのが始まりです。本格的な実施は学校給食法が制定された昭和二十九年に佐比内小学校で開始され、その後各学校独自の施設で作られるようになりました。

彦部小学校では昭和三十八年に十七坪の調理室ができあがり、栄養士のほか三人のお母さんが交替で調理していました。給食の評判は大変良く、お弁当の心配がなくて助かると喜ばれたそうです。

現在の学校給食センターは昭和四十八年四月から給食を開始しました。今日も栄養士、調理師ほか二十人態勢で一日三千七百食を各学校に配給しています。住民満足度調査において町の学校給食は満足度で上位にランクしていますが、安心な食材を使い、栄養のバランスがとれたメニューが県内でも評判になっています。

誌上アートコレクション

土の素朴さと温かさが持ち味の「茜焼き」。町内でとれる粗い粘土で手になじむ陶器が工房に並んでいます。一つの抹茶碗に魅せられ三十歳のときに紫波焼きの大沼巌さんの門を叩き、平成元年に独立。夕陽が沈むころ、赤く染まるふるさとの山々と、あかね空の美しさの感動から大沼先生が「茜焼き」と命名しました。

今回の作品
茜焼き
「抹茶碗」

作者
藤尾良一さん
（星山）

例年、春と秋に工房前で陶器青空市と、やきもの体験コーナーを開催しています。紫波中央駅にオープンする紫あ波せ本舗にも湯飲み、ぐい飲み、茶碗などを出品する予定です。

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています